

●質問・回答表(6月3日受付)

物件名:「飛び出せ!文化の森」ユニバーサル・ミュージアム推進事業コンテンツ制作業務」

| No | 質問内容 | 回答 |
|----|--|--|
| 1 | <p>制作する6つのコンテンツの、1本あたりのおおよその想定時間は、「1本あたり約5分×6本＝合計約30分」という均等な時間配分を想定されているのでしょうか。</p> <p>あるいは、コンテンツごとに時間配分に偏りがあっても、全体で30分程度に収まっていれば問題ないでしょうか。指標となる目安があればご教示ください。</p> | <p>必ずしも6本を均等な時間配分(各5分)にする必要はありません。各文化施設が所蔵する資料のボリュームや、ストーリー展開の最適性に合わせて、コンテンツごとに時間配分に偏り(例:3分～7分など)があっても、全体で合計30分程度に収まっていれば問題ありません。各コンテンツの魅力が最も効果的に伝わる時間配分を企画提案してください。</p> |
| 2 | <p>「モニターが設置されている多様な場所への貸出等を行う」とありますが、想定されている放映機器(モニター、サイネージ端末、メディアプレイヤー等)の具体的な仕様や、再生方法(USBメモリによるループ再生、PC接続など)に指定や制限はありますでしょうか。</p> <p>また、受託者側で再生用の機器やメディアプレイヤー等を調達・納品する必要はありますでしょうか。</p> | <p>貸出先となる各施設によって設置されている放映機器が異なるため、特定の機器の指定や制限は行いません。基本的には、汎用的なメディアプレイヤーやPC、モニターでのUSBメモリ等による再生等を想定しています。そのため、仕様書に記載の通り、汎用性の高い「MP4形式(フルHD以上)」での納品をお願いするものです。なお、受託者側での再生用機器(モニターやプレイヤー等)の調達・納品の必要はありません。納品物は仕様書「6 制作物、提出書類」に記載されているデータおよび納品媒体(HDDまたはSSD等)のみとなります。</p> |
| 3 | <p>制作したコンテンツの放映が想定される施設において、映像の音声(BGMやナレーション)は必ず出力できる環境でしょうか。商業施設等のロビーなど、無音での放映がメインとなる場所も含まれるでしょうか。</p> <p>また、制作するコンテンツにおいて、「ナレーション音声の必須化」「聴覚障害者向けの字幕の付与」といった、音声やアクセシビリティに関する具体的な仕様の指定があればご教示ください。</p> | <p>放映先として、商業施設のロビーや公共施設の待合室など、「無音」あるいは「音声聞き取りにくい環境」も想定されます。</p> <p>本事業は「ユニバーサル・ミュージアム推進事業」であり、多様な方々へのアクセシビリティを重視しています。そのため、音声が出ない環境でも内容やストーリーが理解できるよう、文字の大きさや表現方法といった視覚的な「見せ方」に工夫を凝らしてください。その上で、音声(BGMやナレーション等)を含めた視覚・聴覚の両面から「癒やし」を提供できるよう、無音環境にも配慮した効果的なアプローチを企画提案において提示してください。</p> |
| 4 | <p>制作したコンテンツの貸出等を行う施設について、現時点で想定されている具体的な施設数や、主な対象施設の種類(例:道の駅、病院の待合室、商業施設など)が決まっていたらご教示ください。</p> | <p>現時点で具体的な施設数は確定していませんが(業務完了後に広く募集・貸出予定)、対象施設の種類としてはご質問にある通り、「道の駅」「病院・福祉施設の待合室」「商業施設」「県・市町村の庁舎ロビーや公民館」など、地理的な理由等で文化の森への来館が困難な方を含め、多くの県民の皆様が日常的に立ち寄る場所を広く想定しています。</p> |